

1 売上高見通し

平成22年度第4四半期及び平成23年度第1四半期の売上高見通し指数は、

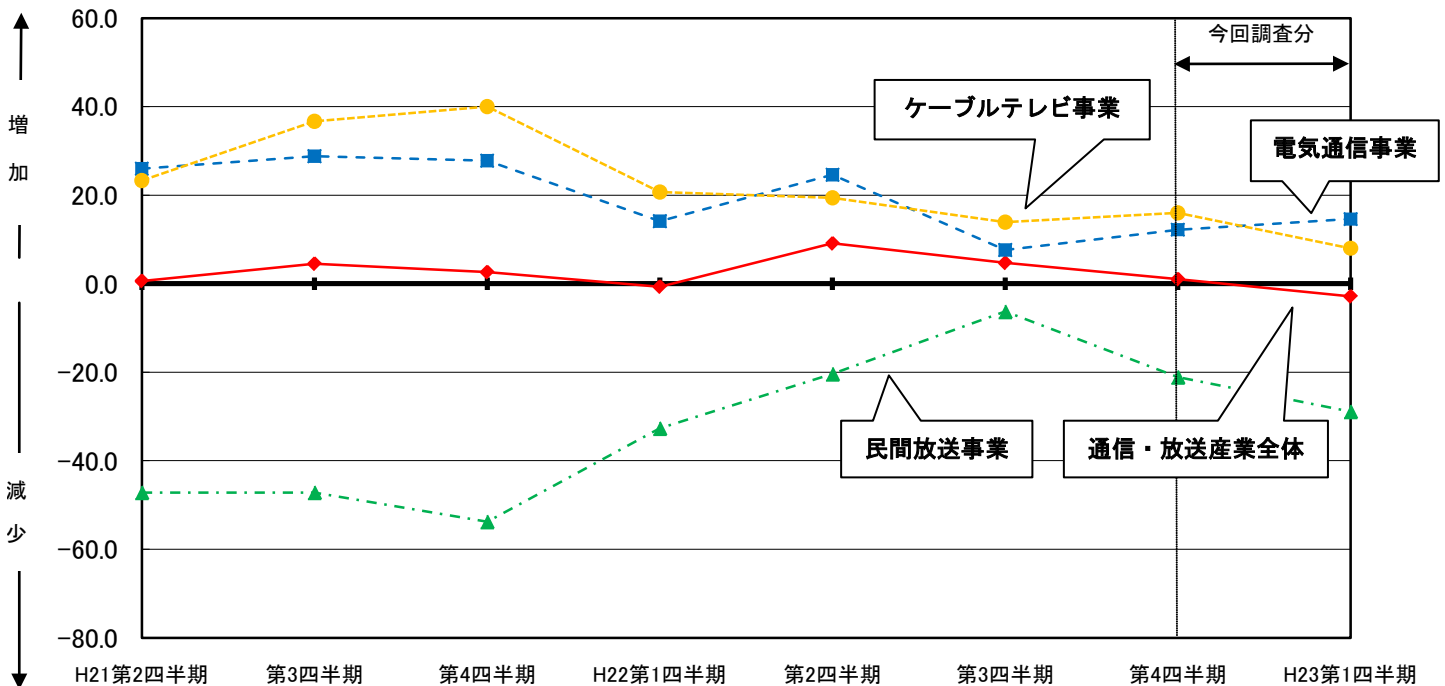
- 電気通信事業は、[12.2]、[14.6]と引き続き「プラス」（売上高が増加すると判断した事業者が多い。）。
- 民間放送事業は、[▲21.1]、[▲28.9]と引き続き「マイナス」（売上高が減少すると判断した事業者が多い。）。
- ケーブルテレビ事業は、[16.0]、[8.0]と引き続き「プラス」。

表1 売上高見通し指数

区分	平成21年度			平成22年度				平成23年度
	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
通信・放送産業全体	0.6	4.5	2.6	▲0.7	9.1	4.7	1.0	▲2.9
電気通信事業	26.0	28.8	27.8	14.1	24.6	7.6	12.2	14.6
放送事業	▲21.7	▲16.9	▲19.5	▲13.6	▲3.5	2.4	▲6.3	▲14.3
民間放送事業	▲47.2	▲47.2	▲53.8	▲32.7	▲20.4	▲6.3	▲21.1	▲28.9
ケーブルテレビ事業	23.3	36.7	40.0	20.7	19.4	13.9	16.0	8.0
(参考)								
全産業	8.7	3.1	0.9	▲3.2	14.7	3.2	2.6	▲1.6

注1：売上高見通し指数(DI) = 「増加すると判断した事業者の割合(%)」 - 「減少すると判断した事業者の割合(%)」  
 注2：平成22年度第4四半期及び平成23年度第1四半期は平成22年度第3四半期末での判断、それ以外は前四半期末での判断。  
 注3：全産業は「法人企業景気予測調査(平成22年10-12月期調査)」(内閣府経済社会総合研究所及び財務省財務総合政策研究所)から売上高判断(大企業)について抜粋。  
 注4：「▲」はマイナスを表す(以下同じ。)

図1 売上高見通し指数の推移





### 3 業況見通し

平成22年度第4四半期及び平成23年度第1四半期の業況（自社の景況）見通し指数は、

- 電気通信事業は、[2.5]、[5.0]と引き続き「プラス」（業況が上昇すると判断した事業者が多い。）。
- 民間放送事業は、両期とも[▲7.9]と引き続き「マイナス」（業況が下降すると判断した事業者が多い。）。
- ケーブルテレビ事業は、両期とも[0.0]と「保合い」となった。

表3 業況見通し指数

区 分	平成21年度			平成22年度				平成23年度
	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期	第 1 四 半 期
通信・放送産業全体	▲11.5	▲7.7	▲9.1	▲2.0	5.2	0.0	▲1.9	▲1.0
電気通信事業	1.4	11.0	5.6	7.1	13.2	4.6	2.5	5.0
放送事業	▲22.9	▲24.1	▲22.0	▲9.9	▲1.2	▲3.5	▲4.8	▲4.8
民間放送事業	▲39.6	▲45.3	▲46.2	▲23.1	▲14.0	▲12.2	▲7.9	▲7.9
ケーブルテレビ事業	6.7	13.3	20.0	13.8	16.7	8.3	0.0	0.0
(参考)								
全産業	0.3	▲1.9	▲3.5	▲1.6	10.1	0.1	▲0.9	0.8

注1：業況見通し指数(DI) = 「上昇すると判断した事業者の割合(%)」 - 「下降すると判断した事業者の割合(%)」。  
 注2：平成22年度第4四半期及び平成23年度第1四半期は平成22年度第3四半期末での判断、それ以外は前四半期末での判断。  
 注3：全産業は「法人企業景気予測調査（平成22年10-12月期調査）」（内閣府経済社会総合研究所及び財務省財務総合政策研究所）から自社の景況判断（大企業）について抜粋。

図3 業況見通し指数の推移

